

2023 年 2 月 27 日月曜日に開催された勉強会のご報告です。同日夜 8 時から、同志社大学大学院ビジネス研究科教授・吉田悦章様から「ICT ネットワーク型金融が創出する社会的価値：イスラム金融に学びつつ『脱・脱炭素金融』へ」と題してお話を頂きました。

吉田さんは、1971 年生まれ、神奈川県ご出身。1995 年一橋大学商学部卒業後、日本銀行に入行。大学在学中ハーバード大学に留学。日本銀行で国際金融市場分析等を担当したのち、2007 年から国際協力銀行アフリカ室兼中東担当調査役を務め、イスラム金融等を担当。国際協力銀行外国審査部参事役、同部第 3 ユニット長等を務める傍ら、2008 年から早稲田大学ファイナンス研究センター客員准教授、2015 年から京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科グローバル地域研究専攻特任准教授、2019 年からウズベキスタン共和国情報通信省副大臣、2022 年から同志社大学大学院ビジネス研究科グローバル経営研究専攻教授。イスラム金融などの特殊な金融に詳しく、日本におけるイスラム金融実務の第一人者として知られる。2015 年には「現代イスラム金融の発展と変容：地域的多様性と商品特性による動態的分析」で京都大学博士（地域研究）。財務省イスラム金融研究会委員等も務められました（以上ウイキペディアより）。

勉強会には会員および会員から紹介された方を含めて総勢 10 名の方々が参加されました。

質問は 6 つ頂きました。イスラム金融の齎す意図せざる社会的価値と意図せざる社会的なネガティブインパクトの問題をどうとらえるべきか、コロナ発生後のイスラム金融の活用状況如何、日本の金融機関によるイスラム金融への関与・活用状況如何、イスラム金融におけるデフォルトの概念如何、フィンテックとしてのアリペイが果たしている役割は市場で普通に果たしている役割であるから ICT とは関係ないのではないか、イスラム金融も ESG 金融において ICT は必要ではあくアナログでもできるのではないか。これに対して、吉田教授からお答えを頂きました。

吉田様、ご講演をいただきありがとうございました。

（記録：安間）